

# 物 入 れ 戸

## 施 工 説 明 書

この度は、室内ドアをご採用頂きまして誠にありがとうございます。

開梱時において、万一梱包や製品に傷などがある場合は施工前に購入先までご連絡をお願い致します。施工後のお申し出に対しては、当社としては責任を負いかねますのでご了承願います。

また、本説明書に基づき正しく施工頂きますようお願い致します。

## 目次

■各梱包内容 .....	2
■施工手順 .....	3~5
・開口部の確認、枠の固定 .....	3
・スライド丁番の取付、扉の吊り込み、扉の外し方 .....	4
・建付けの調整、戸当り・ストッパー、取手の取付 .....	5
■納まり図集 .....	6
■使用上の注意 .....	7

## ■各梱包内容

### ●物入れ戸本体 梱包内容

物入れ戸本体

1 枚

### ●物入れ戸枠 梱包内容 (セット品番 : XM~)

縦枠	部品箱
	
R/L 各 1 本	1 箱

### ●部品箱 梱包内容 (品番 : TR-M-6M、-8M、-10M)

スライド丁番			スライド丁番座			枠取付ビス			上部戸当り	床付きマグネット
										
-6M	-8M	-10M	-6M	-8M	-10M	-6M	-8M	-10M	1 個	2 個
6 個	8 個	10 個	6 個	8 個	10 個	6 個	8 個	10 個		

## ■ 施工手順

### 1. 開口部の確認

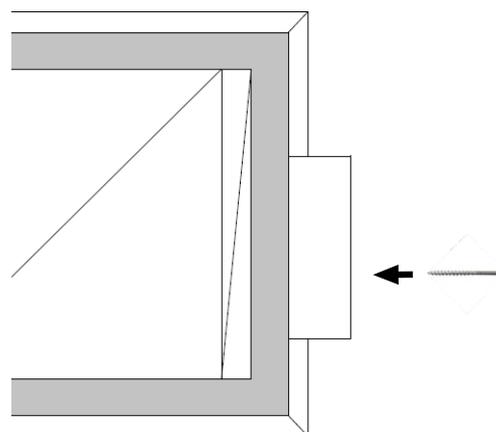
- 開口部の垂直・水平を正しく出して下さい。
- 開口寸法と製品寸法を照合確認して下さい。
- 納まり図を参考に開口部の寸法を確保して下さい。

### ■ 開口部必要寸法

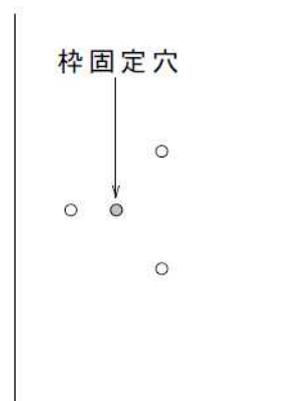
	下地枠外 W	下地枠外 H
H900	769mm	900mm
H1200	769mm	1200mm
H1800	769mm	1800mm
H2000	769mm	2000mm
H2400	769mm	2400mm

### 2. 枠の固定

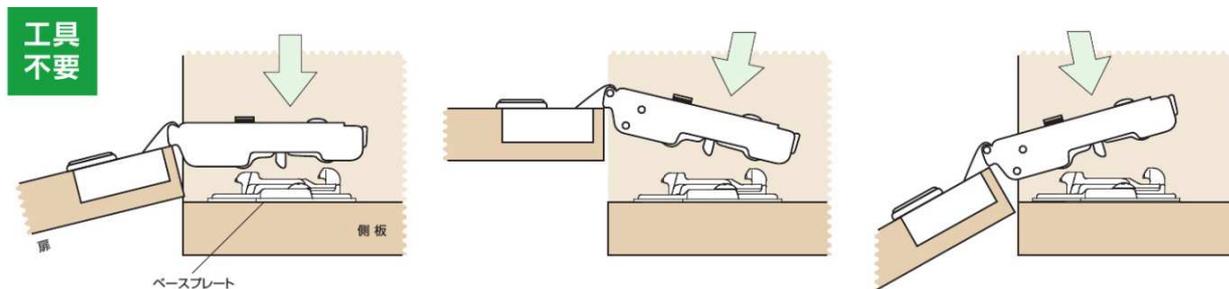
- 1、調整した開口部に物入れ枠を仮固定してください。
- 2、水準器、下げ振りを使用して物入れ枠の水平・垂直・ねじれ・膨れを確認、調整してください。



- 3、下地木材に対して、丁番の中央の枠固定穴から丁番の頭が出ないように注意し固定してください。

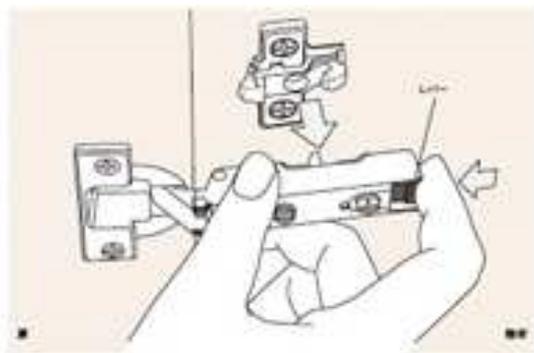


### 3. スライド丁番の取付、扉の吊り込み



- 1、扉側にスライド丁番を取り付けてください。  
※スライド丁番取付け加工は加工済みです。  
※枠側のベースプレートは取り付け済みです。
- 2、スライド丁番本体をベースプレートにかぶせるようにして、カチッと音がするまで押し込んでください

### 4. 扉の外し方



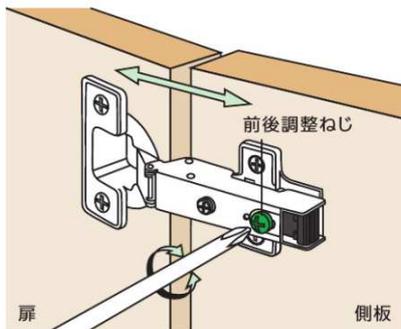
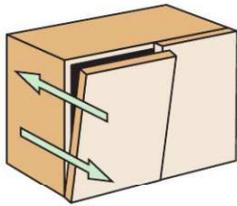
- ロックレバーを押し上げてベースプレートより外してください。  
物がぶつかったりして扉方向へ押ししてしまった場合、扉は外れにくくなっています。

## 5. 建付けの調整

- ・建付けの調整は、手動式プラスドライバーを使用してください。  
電動ドライバーは絶対に使用しないで下さい。

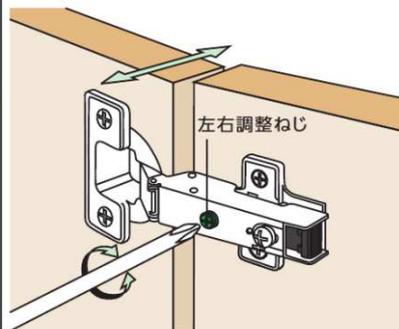
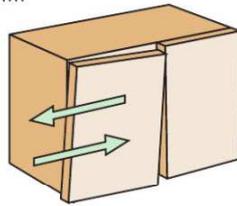
- 扉の前後調整  
前後調整ねじをゆるめて調整した後、締め直してください。

- アジャスト量  
前方向2mm 後方向2mm 計4mm



- 扉の左右調整  
左右調整ねじを必要方向に回して調整してください。

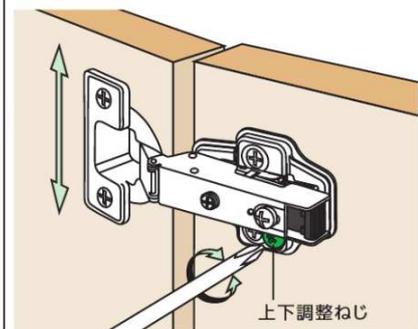
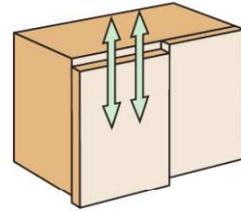
- アジャスト量  
左方向(吊り元)1mm 右方向(戸先)3mm 計4mm



- 扉の上下調整  
(ベースプレートにより移動が可能です。)

上下調整ねじをゆるめて調整した後、締め直してください。

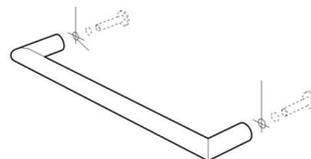
- アジャスト量  
上方向1.5mm 下方向1.5mm 計3mm



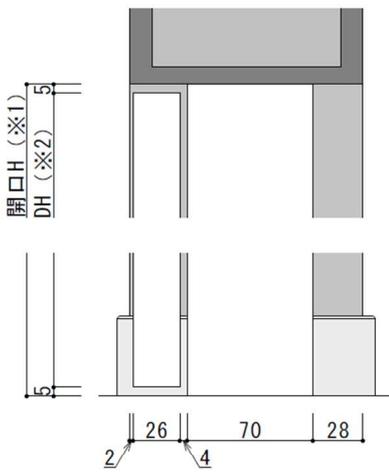
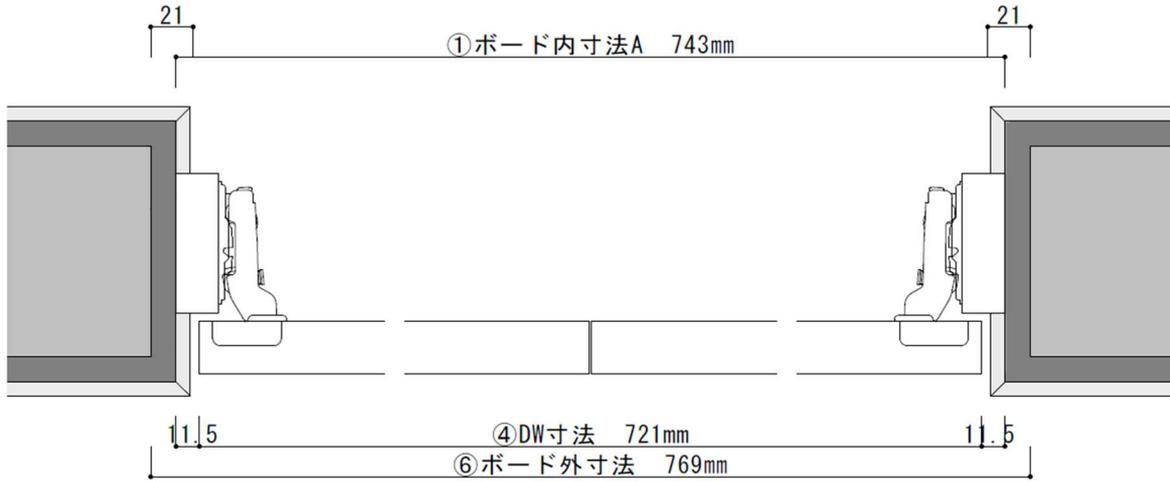
## 6. 戸当り・ストッパーの取付

- ・納まり図の位置を参考に、戸当りとマグネットストッパーを取り付けてください。

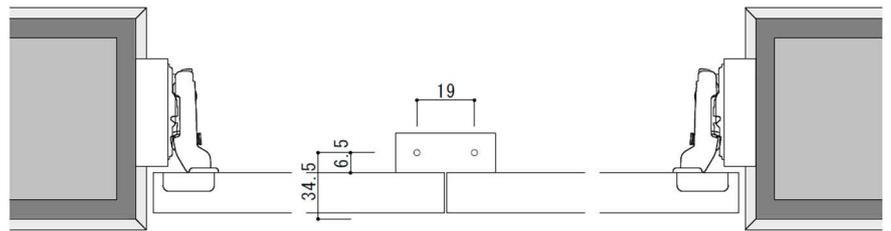
## 7. 取手の取付



- ・付属のビスを使用し、取手を固定してください。  
※建具に取付穴は空いています。

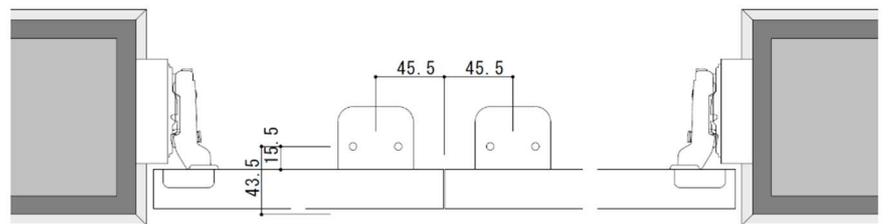


●上部ストッパー取付け位置  
(平面図 天井面)



●マグネトストッパー取付け位置  
(平面図 床面)

(※1) 開口H	(※2) DH
900	890
1200	1190
1800	1790
2000	1990
2400	2390



## ■使用上の注意

●人への危害や財産の損害を防止するために、必ず下記を守ってください。



**警告**

「死亡や重症を負うおそれがある内容」です。



してはいけない内容です。



**注意**

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。



実行しなければならない内容です。



**警告**



- ・扉や取手にぶら下がらない  
扉本体が転倒してけがをするおそれがあります。



**注意**



- ・二人以上で作業する  
一人作業では商品の転倒などによりけがをするおそれがあります。
- ・必ず付属の金具・ねじで施工する  
商品を確実に固定できず、破損・落下・転倒によりけがをするおそれがあります。
- ・ねじで部品・部材を固定する場合は、電動ドライバーなどで締めすぎによるねじの空回り、ねじ頭のつぶれがないようにする  
扉本体などが転倒してけがをするおそれがあります
- ・枠、丁番を躯体へ確実に固定する  
商品や部品・部材を確実に固定できず、破損・落下・転倒によりけがをするおそれがあります。

## ■施工上のご注意

- ・ひっかき傷・打痕などには十分気をつけてください。
- ・湿気の多い場所には施工しないで下さい。本体の反りや作動不良の原因となります。
- ・建築完了まで、ダンボールや養生材などで本体及び枠の養生をしてください。  
※本体及び枠に直接粘着テープを貼らないでください。

## ■運搬、保管上のご注意

- ・製品の仮置きや保管は、湿気や直射日光のあたる場所を避け、床面が水平な場所に平置きしてください。  
立てかけておくと、反りや変形の原因となります。
- ・運搬、荷降ろし時は、商品の角からの落下や打ち当てによる傷や変形に注意してください。
- ・直接日光の当たる場所に置かないでください。日焼けの原因になります。
- ・表面材がはがれる恐れがあるため、直接養生テープなどを貼らないでください。突板の扉は部分的に養生を行うと養生していないところだけ日焼けする恐れがあるので部分養生をしないでください。

## ■お手入れ方法について

- ・特に細かなお手入れの必要はありませんが、汚れが気になる場合は、固く絞った雑巾で拭いていただき水分が残らない様に乾拭きしてください。汚れがひどい場合には、固く絞った雑巾に中性洗剤を少し染み込ませて拭いて、水分が残らない様に乾拭きしてください。
- ・突板の扉の表面はオイル仕上げです。メンテナンスでオイルを塗る場合は、サンドペーパーのかけすぎに注意してください。オイルは、アールジェイ株式会社のいろはを塗ってください。ブラックウォールナットなど変色した場合、いろはカラーで着色することも可能です。